

福部町総合支所 「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標【基本計画・施策】	推進期間			R元年度				中期(～R元年度)における総括		担当課(支所・本課)	
			短期	中期	長期	実施内容	予算額(千)	決算額(千)	目標達成度	事業の方向	成果(何をどれだけ)		次年度以降への課題・方向性
			～H29年度	～R元年度	～R5年度								
①防災対策	河川改修や内水排除施設の整備など治水対策の促進を図り、浸水被害のない安全で安心な暮らしの確保に努める。	治水対策を図り、安全で安心な暮らしを確保する 【地域防災力の向上】	○塩見川河川改修事業の実施計画区間の早期完成	○未着手区間の実施計画策定と整備促進	○河川整備計画の目的である流下能力向上に向けた整備促進、整備手法の変更による工期短縮及び暫定断面での整備により早期の流下能力向上効果を得る。	支所付近より上流部の改修計画区間の実施設計等計画作成、箭溪合流点上流から支所付近までを暫定断面での改修を進める。駅前付近の整備手法の変更による工期短縮を検討。				3.現状維持	箭溪川合流点付近整備が概ね完了(箭溪川左岸工損事後調査、完了、箭溪川右岸借地復旧工)	箭溪合流点より上流の暫定断面での改修を進める。塩見橋の完成断面を前提とした整備計画策定、箭溪川放水路整備及び関連道路整備計画の策定	都市環境課 福部町総合支所
			○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	—	継続的なポンプ車稼働のための業者委託を行う。また、計画的な操作研修を実施するとともに塩見川改修計画に併せポンプ車設置場所の検討				3.現状維持	排水ポンプ車操作者の人材育成をする予定だったが、ポンプ車の移動に大型免許が必要であり、将来的に職員で動かすことが困難になることが予想されたため初期対応から業者へ委託。	課題として、気象情報等から水位の上昇を早めに予測し、委託業者と連携を密にすることが重要となる。	都市環境課 福部町総合支所
				○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○塩見川河川改修事業の整備状況に併せ、内水排除施設の整備を検討	塩見川改修計画に併せ内水排除計画を検討				3.現状維持	実施計画策定には県が塩見川改修に係る福部町駅前地区の改修計画を確定するため、住民へ説明が必要である。県へ計画調整を要望しており、改修計画の周知を待って内水排除計画などを策定し住民に周知を行う	都市環境課 福部町総合支所	
②産業・観光振興	鳥取砂丘を中心にジオエリアを観光資源として活用し、今までの観光農業を魅力的に発展させながら、農産物加工など新たな観光の創設し、特色を活かした地域情報を全国発信する。	ジオサイトを有効活用する 【滞在型観光の推進】	○近隣のジオサイトと連携	○新たな観光ルートの検討	○観光資源の開発と利活用を促し、特色ある地域情報として全国発信	ジオスポットなどを巡る継続事業や新たな観光ルートの検討など取り組みの継続実施 R元.10.20 第3回鳥取すごい！ライド実施 参加者約1,000人				3.現状維持	鳥取すごい！ライドの実施などジオスポットなどを巡る事業や新たな観光ルートの検討など取り組み	地域資源を活用し、ジオツーリズムを展開し特色ある地域情報として全国発信	観光・ジオパーク推進課 地域振興課 福部町総合支所
			○観光梨狩り園の活性化を図るため課題・問題を把握	○活性化策の検討と生産者の意思統一	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR	多鯉ヶ池周辺整備検討委員会による周辺整備計画の支援等				3.現状維持	多鯉ヶ池周辺整備検討委員会による周辺整備計画の支援等	多鯉ヶ池周辺整備検討委員会を鳥取砂丘未来会議の多鯉ヶ池ワーキングとして位置づけ周辺整備計画の支援等を行う	観光・ジオパーク推進課
			○らっきょう生産の課題・問題を前提とした生産者の意識統一	○らっきょう産地維持のための施策を展開	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR	らっきょう生産振興大会助成及びらっきょうビジョン研究会による消費者ニーズの調査	242	242		3.現状維持	・らっきょう生産振興大会助成 ・らっきょう将来ビジョン研究会運営補助	・若手生産者によるらっきょう将来ビジョン研究会による消費者ニーズ等市場調査及び市内小学校にらっきょうプランター贈呈予定 ・らっきょうの自動販売機設置等	農政企画課 福部町総合支所
	○特産品化を前提とした農産物をJAや農家と共同で選定	○農家への生産奨励と特産品の加工品開発や販売促進	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR	福部地域の農家の生産意欲の向上につながるアイデア館運営を行った。(アイデア館祭り等の実施) ・岩戸港海女組と共同で「大根と茎わかめの佃煮」を商品開発し販売機会の拡大を図った。	200	200		3.現状維持	・アイデア館運営協議会によるアイデア館運営管理及びアイデア館祭りの実施 ・岩戸港海女組と共同で「大根と茎わかめの佃煮」を商品開発し販売機会の拡大を図った。	・福部地域の農家の生産意欲の向上につながるアイデア館運営を行う。 ・引き続き商品開発等による販売機会拡大を図る。	福部町総合支所		

福部町総合支所 「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標【基本計画・施策】	推進期間			R元年度				中期(～R元年度)における総括		担当課(支所・本課)	
			短期	中期	長期	実施内容	予算額(千)	決算額(千)	目標達成度	事業の方向	成果(何をどれだけ)		次年度以降への課題・方向性
			～H29年度	～R元年度	～R5年度								
③交通対策	砂丘周辺で発生する交通渋滞を緩和するため、現在行っている施策をより効果的なものとして充実させる。	鳥取砂丘周辺の交通渋滞を緩和する【生活基盤の充実】 【商業・サービスの振興】	○誘導ルートである県道(観光道路)改良工事の促進と早期完成 ○利用者が分かりづらい福部IC付近の誘導案内の見直し ○現行臨時駐車場の継続的確保	○山陰近畿自動車道の新ICを含めた砂丘周辺の誘導ルートを検討 ○誘導ルートの検討と併せた砂丘周辺道路の誘導案内の見直し ○新たな臨時駐車場の確保	○誘導ルートの検討結果に基づき必要な施策を実施 ○臨時案内を含め、観光客が分かり易い誘導案内対策の実施 ○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立					3.現状維持 ・臨時案内看板及び交通誘導員の配置 ・周辺案内看板整備及び砂丘東交差点周辺整備 3.現状維持 ・臨時駐車場の確保 ・オアシス広場 ・岩戸 ・梨狩直売所	・臨時案内看板及び交通誘導員の配置 ・周辺案内看板整備及び砂丘東交差点周辺整備 臨時駐車場の確保 ・オアシス広場 ・岩戸 ・梨狩直売所	都市企画課 福部町総合支所 観光・ジオパーク推進課 福部町総合支所 観光・ジオパーク推進課 福部町総合支所	
④教育のあり方	福部小・中学校の将来を見据えた学校の在り方について今後も議論を深め、地域が願う教育の在り方を実践するため、地域と学校が一体となって教育環境の改善を行う。	幼・小・中学校10年間の一貫校とする【教育の充実・郷土愛の醸成】 地域住民が関わるコミュニティスクールとして運営する【教育の充実・郷土愛の醸成】	○実現に向け具体的な行動 ○学校運営協議会の設立 ○住民が願うあるべき学校の目標設定	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施 ○学校運営協議会への支援 ○住民意識の向上と積極的参加	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施 ○学校運営協議会への支援 ○まちづくりに繋がる施策を展開				A.達成 3.現状維持	H30年4月に開校した一貫校「鳥取市立福部未来学園」の学校運営について、教師、保護者、地域が協働して進めていくため「学園運営協議会」を通して将来を見据え議論を深めていく。 H30年4月に開校した一貫校「鳥取市立福部未来学園」について、「学園運営協議会」を通して、将来を見据えた学園運営のあり方や、学園憲章の制定などについて協議を行った。	今後も「学園運営協議会」を通じて、地域の特色を生かし魅力ある学園づくりを推進するために議論を深めていく。	学校教育課 福部町総合支所	
⑤ファシリティマネジメントの推進	鳥取市公共施設の経営基本方針に沿って、支所、コミュニティセンターや中学校などの市有施設の適切な管理と効率的な利活用を図る。	総合支所及びコミュニティセンターの整備等【ファシリティマネジメントの推進】	○支所庁舎の耐震化工事及びコミュニティセンター複合化工事の推進 ○旧コミュニティセンター及び町民体育館の解体撤去後の利用方法を検討 ○中学校校舎の空き教室の利用方法を検討	○複合化された支所・コミュニティセンターの効率的な運用を図る ○旧コミュニティセンター及び町民体育館の解体撤去後の利用計画を策定・実施 ○中学校校舎の空き教室の利用計画を策定・実施	支所庁舎の耐震化工事の完了およびコミュニティセンター複合化工事の開始。 旧コミュニティセンター及び町民体育館の解体撤去後の跡地利用計画について検討 中学校校舎の空き教室の利活用について勉強会立ち上げの検討			A.達成 3.現状維持 A.達成 3.現状維持 A.達成 3.現状維持	・支所庁舎の耐震化工事をR元年10月末に完了し12月に新庁舎で業務開始。 ・コミュニティセンター複合化工事の開始(R2年3月)。 ・関係団体への意向アンケート調査を実施 ・関係各課と協議 関係課、学校と利活用について協議。管理棟の一部を学校支援組織が使用することとした	・コミュニティセンター複合化工事がR2年10月末に完成予定。 ・解体撤去後の跡地利用策について関係各課でのワーキングなど協議を継続し、計画を策定・実施する。 学校とも協議しながら学校支援組織の中学校校舎の空き教室の利用について調整、支援	財産経営課 福部町総合支所 教育総務課		
⑥地域内情報伝達の整備	地域コミュニティ活動を円滑に行うため、地域内情報伝達設備を整備する地域への支援を行う。	地域及び行政情報の伝達【協働のまちづくりの推進】	○各集落の情報通信手段の決定・施行を支援	○各集落の情報通信設備の運用を支援	各集落の情報通信手段の決定を受け通信設備を整備し、運用方針を定める。			B.概ね達成 3.現状維持	16自治会で整備を行うとともに、運用方針を作成、R2年2月から音声告知端末の運用を開始。	残り1自治会の整備 伝達設備の運用を支援	福部町総合支所		
⑦防犯対策	通学路等に防犯灯を設置するまちづくり協議会を支援する。	防犯灯の設置【防犯・交通安全対策の充実】	○町内に計画的に防犯灯を設置するまちづくり協議会を支援	○町内に計画的に防犯灯を設置するまちづくり協議会を支援	集落間の通学路に計画的に防犯灯を設置するまちづくり協議会を支援			A.達成 3.現状維持	集落間の通学路に防犯灯を42基設置	残り1基の設置	福部町総合支所		
⑧新たなインターチェンジを利用したまちづくり	山陰近畿自動車道に設置する新たなインターチェンジを活かした福部町のまちづくりを検討する。	新たなインターチェンジを利用したまちづくり【公共交通の確保】	○29年度に策定した「福部町のまちづくり構想」に基づき具体的に検討 ○国県に対し引き続きインターチェンジ設置を要望	○29年度に策定した「福部町のまちづくり構想」に基づき具体的に検討 ○国県に対し引き続きインターチェンジ設置を要望	「福部町まちづくり構想」実施計画を策定し、具体的な取り組みを進めるとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望			A.達成 3.現状維持	「福部町まちづくり構想」実施計画に組み込むとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望	「福部町まちづくり構想」実施計画に基づいて取り組みを進めるとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望	福部町総合支所		

福部町のまちづくり構想 実施計画 2020年度地域振興会議実施分

No	細施策	誰が(誰と)	(誰と)	いつまでに	何をやる	達成目標 指数	実施予定 時期	進捗状況
2	道の駅等と併せた要望活動の拡充	福部地域振興会議	(国府地域振興会議)	2020年度	国府地域振興会議と意見交換を行う。(新IC要望)	開催回数: 1回以上	10月(東部ブロック会議)	R2.6.23岩美町、国府支所、福部支所の事務レベルで岩美広域農道を活用した地域振興策について意見交換を実施。 R2.6.30 岩美、国府にマップに掲載するスポット調査を依頼(8/21〆切)
3	道の駅等と併せた要望活動の拡充	福部地域振興会議		2020年度	先進地視察を行う。(新IC要望)	視察回数: 1回以上	2月11月(若桜駅、恋山形駅)	2月は積雪の可能性あるため、コロナも考慮し、中止や延期を含めて検討が必要。バスを大型化するなどし3密対策を行う必要あり。
6	観光振興及び交通渋滞解消の効果検証	福部地域振興会議	(砂丘のアクティビティ事業者)	2020年度	砂丘のアクティビティ事業者と情報交換のための会議を開催する。	開催回数: 1回以上	2021年に延期	・事業者案: 多鯰ヶ池ワキガグループ、砂丘ヨガ、ファットバイク、パラグライダー、サンドボードなど。 ・テーマの検討が必要 ・今年はコロナの影響で観光客が少なく、事業者も活動状況が少ないと思われるため、実施時期を2021年度に延期する。
10	インターチェンジと併せた要望活動の拡充	福部地域振興会議	(町内の関係団体)	2020年度	会議に本課や町内の関係団体を招き意見交換する。	招聘回数: 1回以上	1月	テーマ、団体の選定が必要 ・南北線(都市企画課)7/27都市企画課 徳田係長 8/7に県が南北線の都市計画説明会開催し、計画用地が示される。その後、計画ルート沿線の地区の方を対象とした説明会を開催。南北線の接続点を福部インターから覚寺インターに変更したため、福部での説明会は行わない。 ・浜湯山・多鯰ヶ池活性化委員会 ・未来へつなぐらっきょう将来ビジョン研究会 ・JA,農政企画課(自動らっきょう切り機の開発状況) ・鳥取砂丘未来会議 ・移動販売車

福部町のまちづくり構想 実施計画 2020年度地域振興会議実施分

No	細施策	誰が(誰と)	(誰と)	いつまでに	何をやる	達成目標指数	実施予定時期	進捗状況
12	周辺観光地への誘客・案内効果の検証	福部地域振興会議	(福部町地域振興課)	2020年度	道の駅「きなんせ岩美」などで、鳥取砂丘への経路についてのアンケート調査等を検討する。	検討回数：1回以上	12月まで	令和3年度のアンケート調査実施に向け、アンケート内容、方法等について検討する。 6/22 アンケート原案作成済
22	店舗の誘致、新たな起業の促進	福部地域振興会議		2020年度	コミュニティセンターの跡地利用策について検討を行う。	検討会：1回以上	2021以降に延期	全市的に未利用地の有効利用を検討しているため、今年度の跡地利用検討は見送る。
31	福部駅による鉄道利用促進	福部地域振興会議		2020年度	地域まちづくり事業協同組合の設立を検討する。	検討回数：1回以上	今年度中	となりのがっこうが地域活性化グループとして活動できないか、団体と協議中。先だって、来年度から空き家運營業務の実施に向け協議中。
48	塩見川等河川改修事業の推進	福部地域振興会議		2020年度	会議に県河川整備担当課を招き意見交換を行い事業の推進を図る。	招聘回数：1回以上	2月	R2年秋に実施設計完成予定。その後実施。